

つるせ西だより



～今月の特集～
西だよりで
フェスティバル

第156号(10月号)2020. 10. 1

編集:鶴瀬西交流センターだより編集委員会

発行:富士見市立 鶴瀬西交流センター

〒354-0021 富士見市大字鶴馬3575-1 TEL:049-251-2791 FAX:049-255-9707

地域の百景 26

踏切り いまむかし

「開かずの踏切」についてはよく話題になることがあります。緊急の用事がある時に信号機が閉まってしまい長い時間留め置かれたら本当に参ってしまいます。この地域も都会化してしまい電車は10両編成になっているので、上り下りがいくつか続けばそれぞれ悲劇です。ある意味便利になったのはいいけど。

私たちに身近な「東上線」は大正時代のはじめに開通しましたが、なぜ東上線なのか、これは東京と上州渋川を結ぶ線としての頭文字をつけたのが由来だそうです。

今、鶴瀬駅とみずほ台駅の間に踏切が3つあります。開業当時は7つほどありました。主にそれらの踏切は広がる畑地の農道のような役割だったように思いました。が、後に複線になったときに今のようになりました。

静かだった昔からの風景を時々思うこのころです。

(撮影・文/萩原編集委員)



関沢2丁目北側踏切



つるせ台小学校にて

まちな話

小学校区避難所

運営会議が行われました

最近の集中豪雨や台風の自然災害は想定できないような災害をもたらす恐れが年々ひどくなるようです。さらに今年には避難所運営をするにあたり同時に新型コロナウイルスの感染予防をしなければなりません。

西地区ではつるせ台小学校と関沢小学校が避難所となります。そこで、避難所の開設にあたり、市の安心安全課の指導で地域の9町会の代表と地域対策本部職員(市職員)、学校教職員による避難所運営会議が開かれました。

新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所運営について等の説明があり、運営組織の役割や避難所のレイアウト等の確認後、実習として段ボールパーティション及び段ボールベッドの組み立てを行いました。

(笠原)